



マラヤン・バンキング (MBBM)

貸出残高の増加、不良債権処理費用の減少により増益確保。デジタル取引の増加による成長拡大に注力。

マレーシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG MAY:MK | REUTERS MBBM.KL

- 2021/12 期 4Q (10-12 月) は営業収益が前年同期比 0.2%減、営業費用が同 3.0%増、経費率が同 1.4 ポイント上昇、不良債権関連費用が 56.1%減、純利益が同 33.8%増。
- マレーシア、シンガポールにおいて貸出残高が増加したほか、支払利息や貸倒引当金等の不良債権関連費用減少等が増益に貢献した。
- 電子ウォレットやモバイルアプリ、QR 決済などの取引が増加。デジタル金融サービスの積極化による取引拡大が期待されよう。

What is the news?

2/24 発表の 2021/12 期 4Q (10-12 月) は、純営業収益が前年同期比 0.2%減の 62.99 億 MYR、営業費用が同 3.0%増の 29.54 億 MYR、純減損引当金繰入額が同 56.1%減の 6.68 億 MYR、純利益が同 33.8%増の 20.56 億 MYR。マレーシア、シンガポールにおいて貸出残高が増加したほか、CASA 比率 (総預金に対する普通・当座預金の比率) の上昇に伴う支払利息の減少、返済支援プランの提供・貸付先管理の強化等による貸倒引当金繰入額の減少により利益率が改善。前四半期比では純営業収益が 2.4%増、純利益が 22.1%増。主に不良債権関連費用の減少が利益面で貢献。

4Q の純営業収益の内訳は以下の通り。①純金利収益が前年同期比 12.2%増の 48.68 億 MYR。貸出残高が同 4.0%増、純金利マージンが同 0.21 ポイント上昇の 2.26%となったことが貢献。②純手数料収益は同 27.6%減の 14.31 億 MYR。投資・トレーディング収益が減少したほか、金融資産や投資資産に係る未実現利益の減少が響いた。

How do we view this?

2022/12 通期の会社見通しは、経費率が 45-46% (前期実績 45.3%)。同行はマレーシアを中心にデジタルソリューション・プラットフォーム事業を積極化している。4Q の取引金額において、マレーシアでは電子ウォレットアプリの Maybank2u が前四半期比 9.8%増、中小企業向けモバイルアプリが同 13.5%増、QR コード決済の QRPay が同 2.0 倍と成長。インドネシアでも Maybank2u アプリが同 7.7%増、モバイルアプリが同 8.6%増と伸びており、IT を活用した取引拡大が注目される。

また、イスラム教徒が約 6 割を占めるマレーシアにおいて、同社はイスラム金融事業を成長事業に位置付けている。2021/12 通期は、総収益が前期比 24.8%増の 66.84 億、税引前利益が同 90.3%増の 44.29 億 MYR、経費率が同 6.2 ポイント低下の 27.2%に成長。米調査会社がまとめた世界イスラム経済指標ランキングにおいて、マレーシアは首位を獲得するなど、イスラム教に沿った経済活動が高く評価される。2021 年の世界のイスラム金融の資産額は前年比で 7.8%増の 3 兆 6 千億ドルと、成長が続く市場を背景に、同事業の安定的な成長拡大が期待されよう。

業績推移

※参考レート 1MYR=29.646円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
売上高 (百万MYR)	37,037	33,024	30,620	26,810	28,212
純利益 (百万MYR)	8,198	6,481	8,096	8,440	9,924
EPS (MYR)	0.74	0.58	0.70	0.72	0.84
PER (倍)	12.04	15.34	12.70	12.33	10.52
BPS (MYR)	7.26	7.40	7.22	7.56	7.81
PBR (倍)	1.22	1.20	1.23	1.17	1.13
配当 (MYR)	0.64	0.52	0.58	0.56	0.64
配当利回り (%)	7.23	5.88	6.55	6.33	7.27

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) 0.56 (予想はBloomberg)
終値 (MYR) 8.85 2022/4/11

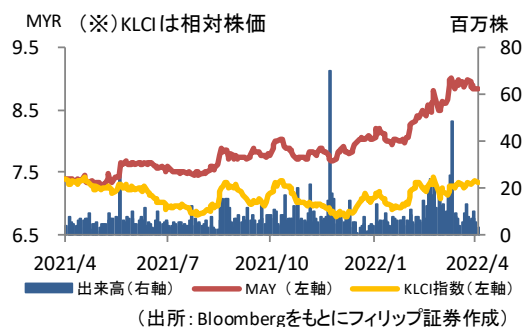
会社概要

1960年に設立されたマレーシアの大手商業銀行。マレーシア証券取引所で時価総額が最大の会社である。「メイバンク」の愛称として知られ、マレーシア、シンガポール、インドネシアを中心に一般商業銀行、イスラム系銀行業務を行う。子会社を通じて商業銀行、投資銀行、イスラム銀行、海外金融、リース、保険、ファクタリング、信託、資産管理、証券などのサービスを提供。グループ傘下のメイバンク・イスラムは、アジア太平洋地域のイスラム銀行として国内トップ。また証券事業のメイバンク・キムエンは、2011年にTOBにより三菱UFJ証券ホールディングスより買収した。

3つの中核業として、①コミュニティ金融サービス (消費者金融、中小企業向け金融、および事業金融を含む)、②グローバル銀行 (大企業や機関投資家向けの金融であり、投資銀行、証券業務、アセットマネジメント業務を含む)、③通常の保険およびイスラム保険 (タカフル) を手掛けている。

企業データ (2022/4/12)

ベータ値 0.95
時価総額 (百万MYR) 105,125
企業価値=EV (百万MYR) -
3か月平均売買代金 (百万MYR) 88.1



主要株主 (2022/3)

(%)
1. AMANAH SAHAM NASIONAL BHD 39.33
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD 13.81
3. YAYASAN PELABURAN BUMIPUTRA 7.09
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

山口 亮太
ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
笹木 和弘
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。